

## 第 18 回 PERIO PBL カンファレンス

担 当：薬剤部

テーマ：「周術期における薬剤師の関わり～情報収集が困難だった事例～」

2015 年 12 月 16 日（水）17：30～18：30

第 18 回目の担当は、薬剤部でした。テーマは、「周術期における薬剤師の関わり～情報収集が困難だった事例～」でした。

薬剤師による面談では、現在使用中の薬剤や、術前中止薬の指導、アレルギー歴の確認などとても重要な役割を担っています。今回は、薬剤師による面談の際に、診察や検査で患者が疲労困憊しており、患者本人からの情報



収集が十分に行えなかった事例が紹介されました。症例を振り返り、情報収集を確実に行うにはどのようにしたらよいか、多職種で意見交換を行いました。

看護師より、お薬手帳は、処方内容や副作用歴、アレルギー歴など大切な情報が記載されているため、お薬手帳の確認が行えていたら、十分な情報収集が出来ていたのではないかとの意見がありました。薬剤師より、お薬手帳を事前に確認することは、薬剤面談に役立ち、十分な情報収集を行えることに繋がると述べられました。また、当症例は、PERIO が介入している対象診療科ではありませんでした。PERIO が介入している対象診療科の場合、最初に薬剤面談が行われていますが、PERIO が介入していない診療科の場合は、薬剤面談が最後になることもあります。PERIO が介入していない場合の外来受診の順番や情報収集のあり方について、活発な意見交換がなされました。今回のカンファレンスでは、外来受診の順番や術前からの情報収集の大切さを改めて感じました。

参加者職種別内訳	
職種	人数
医師	1
歯科医師	0
看護師	9
薬剤師	1
理学療法士	13
管理栄養士	1
歯科衛生士	1
歯科技工士	1
計	27

